

ふるさと 郷土の温かさに感謝

27,454票の重み、地域格差解消に全力

ゆうこう 道政便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

マスコミ報道に歓声

「やった〜。トップ当選だ」。4月8日の道議選挙の開票作業が進み、各地で票が出だすと、事務所に集まった皆さんから口々に歓声が上がりました。

そして、マスコミが発表した当選確実の報道で北口



当選確実の連絡を受け、ダルマに「V」を入れる北口雄幸新道議

雄幸さんが会場に到着すると、誰からともなく、「万歳！万歳！」の音が響きわたりました。

マスコミのインタビュー

で北口新道議は、「このような大変重い得票をいただき、郷土（ふるさと）の皆さんに心から感謝します。今日のように格差が拡大し、地域の悲鳴がこのような結果になったと思います。今後、この声を道政に届けるため頑張りたい」と決意を述べられました。

その後、ダルマに勝利を表す「V」を入れ、ジュースで乾杯しました。

「北口雄幸道議と語る 青空の集い」のご案内

とき：9月8日(土)11時～
ところ：創成自治会館横
会費：2,000円
主催：北口雄幸後援会

青空でジギスカンを囲みながら、北口さんと語り合いませんか？

雨天時は、会場で肉などと交換できます。

【会券のお求め先】

北口事務所(東3条北7丁目)
電話 0165-22-3100
FAX0165-23-4356

一期生(余派)の会長に

北口さんは、民主党・道民連合(所属議員は40名)に所属し、一期生11名の会

士別市後援会長に小貫氏就任

北口雄幸さんの政治活動を支えようと、士別市後援会が組織され、北口さんの地元自治会長である、小貫勝太郎さんが会長に就任しました。

また、幹事長には上士別農民連盟書記長である寺島栄一さん、事務局長には木内



之次さんがそれぞれ就任しました。

長に選出され、会派の副幹事長に就任しました。また、委員会は、総合企画委員会、少子・高齢社会対策特別委員会に所属しています。

参議院議員選挙の結果からも

北口さんの活躍に期待が高まっています。

【小貫会長の談話】この度、北口雄幸さんの士別市後援会長を務めることになり、身の引き締まる思いで一杯であります。

北口さんは私の後継者として昨年士別市議会議員にトップで当選され、今回、道議会議員としても当選されました。まじめで実直な方ですので、私も一生懸命お支えしようと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ホームページ開設。ブログも毎日更新中！

<http://y-kitaguchi.net/>

平成19年第2回定例道議会(6月15日~7月10日)

医師不足による自治体 財政支援策などを提言

傍聴の中、初の一般質問

初めての本格議会となる平成19年第2回定例会は6月15日開会し、会期を7月10日までの25日間とすることを決定。開会に先立ち、高橋知事から道政執行方針及び補正予算に関する提案説明がなされました。

6月15日からの代表質問に引き続き、21日からは一般質問が行われ、初日の6人目として北口道議が登壇しました。地元から駆けつけた、25名の傍聴の皆さんが見守る中、堂々とした質問に、議場全体から拍手が起こりました。



北口さんの質問と答弁内容は次のとおりです。

自治体財政の現状と支援は

問 自治体財政健全化法が成立した。法の特徴は連結決算制度であり、第三セクターを含めた借入金の状況を明らかにすることだが、道内自治体がどのような状況になると想定しているのか。

答 具体の基準が政省令にて定まるまでは対象自治体や健全化計画策定の必要性が明らかでないが、実質赤字が生じている市町村は制度適用の20年度決算を待つことなく、早期に自主的な健全化の取り組みを行う必要がある。

問 市町村立病院は深刻な医師不足に加え、不採算となる緊急部門を持たざるを得ないなど、財政の立て直しを図ろうにも支出削減が限界だ。病棟閉鎖や再編により医業収益

は大幅に減少している中、閉鎖病棟の管理費や償還費は払い続けざるを得ず累積不良債務は増えるばかりだ。知事はこの現状をどう認識しているのか。

答 17年度決算では84病院事業のうち61事業で経常収支の赤字、20事業で不良債権が生じ額も増加の状況にある。病院事業の経営状況は自治体財政や住民生活に及ぼす影響が大きいことから、医師・看護師の確保とともに国に必要な財政措置を求めると、早期の健全化が計れるよう取り組み。

問 自治体病院を守るためには、診療報酬の改定や医師標準数の弾力化など、これまで以上に配慮した対策を国に求めるべきだ。

答 これまでも診療報酬の適切な見直しや医師標準数の特例措置について全国知事会とも連携して国に要望しており、今後とも強く働きかける。香川県では市立病院を

救済するため、自治振興資金として貸し付けし、不良債務を解消した例がある。北海道においても市町村振興基金条例の一部を緩和し、低利で貸し付けるなど、市町村立病院を支援・救済すべきだ。

答 病院事業の不良債務解消を目的として貸付を行なうことは、地方債制度面や基金規模などから課題がある。道としては引き続き、国に対し必要な事項を提案・要望する。

問 北海道厚生連は自治体に対し、従来の赤字補填の3分の2の額から全額へと求めており、全額補填が無理ならば無床診療所への転換を進めるといふ。自治体にとっては負担増が規模縮小かの選択に不安と戸惑いを隠せない実態だ。自治体病院を持つ市町村と同様に、厚生連など公的病院に交付税措置すべきだ。

答 公的医療機関に対する市町村負担の交付税措置

を国に要望しており、引き続き行なう。

障害者手帳の早期交付を

問 交付申請に係る認定事務において、市町村での申請から支庁に到達する間に認定日が異なる実態がある。手帳の効力を申請日からとするよう取り扱いを統一すべきだ。

答 法では審査の結果認めた場合に交付するとされており、申請しても認められない可能性を勘案すれば、制度上、効力をさかのぼることは困難。今後利用者への立場に立つて迅速な事務処理を進め、可能な限り速やかな交付に努める。

アライグマの駆除を

問 15年からアライグマ対策を進めているが、生息状況をどう把握しているのか。

答 18年11月現在では全道120市町村にて生息が確認されるなど、道央

を中心として道東や道北にも生息域が拡大している。

問 アライグマによる農産物の被害状況は。

答 平成5年に初めて被害が報告され、10年以降は毎年3千万円以上の被害報告、17年度は4千8百万円となった。被害のあった市町村は10年度の13から17年度には23となった。

問 18年度行動計画では緊急捕獲数を年間2千頭とし、その半数を6月までとしたが、昨年の実績と今年度の目標は。

答 18年10月現在で1059頭となっている。19年度は被害の低減化及び生息域拡大阻止を掲げ、



農作物の被害が増え、早期対策が待たれるアライグマ

野外からの排除に向け最大限の捕獲に取り組んでいる。

問 農産物を中心とした被害を最小限に抑えるために、どのような計画で対策するのか。

答 野生化したアライグマを全ての排除には粘り強い捕獲の継続が重要だ。18年4月に新たに策定した計画に基づき、国や市町村、農協等と連携し一層取り組みを推進する。

道立自然公園の保全を

問 天塩岳道立自然公園はスノーモービル乗り入れの規制対象ではないため、愛好家が入っている現状にあり、自然環境に対する影響が心配だ。道立自然公園の規制の状況は。

答 規制地区指定は乗り入れが相当程度行なわれ、そのために植生や野生動物の生息・生育環境破壊等の影響が生じている地区、また将来、被害が予想される地区を対象とし

ている。現在、12の道立自然公園のうち6箇所・12地区を指定している。

問 自然を後世に残すためにも、天塩岳道立自然公園へのスノーモービル等の乗り入れ規制を強く求める。

答 地元市町村や山岳会等の協力を得て、実態把握や動植物の影響を勘案し、検討する。

【再質問】もっと支援を

問 自治体病院の健全化に向けた知事の姿勢・取組方針が全く見えない。言葉だけでは病院の経営は改善しない。

答 支庁と市町村で構成する検討組織を設置し、実態を踏まえた具体的な経営健全化策を検討する。関係部が連携し、病院事業及び市町村財政の健全化に向け全力で取り組む。

【指摘】地域に配慮を

地域住民の思いを自治体病院広域化の検討

に当たっては、集約される側の思い、そこに住む住民や患者の思いも含めた議論を十分行なうよう強く求める。

障がい者に配慮を

他の都府県の取り扱いの実態も調査し、障がい者に配慮し、一日も早く交付できる体制を構築すべきだ。

採択された決議と意見書

【決議】 道州制特区の推進により北海道の自立的発展を目指す決議

【意見書】 年金記録問題の早期解決を求める意見書
地方自治体財政の充実・強化を求める意見書
タクシー事業の規制緩和に関する意見書

義務教育の機会均等の確保と予算の拡充を求める意見書

WTO農業交渉・日豪EPA交渉に関する意見書
道路整備に関する意見書

北口ゆうこう奮闘日記

北口さんの奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介し
ます。

4月29日【街頭報告】

民主党としての「街頭国政道政報告」を今日から4日間かけて、管内全市町村で行う予定だ。街頭報告には、佐々木隆博代議士も同行してくれ、国政と道政の報告をしている。土別市朝日町では、移動の車中から地元の伊藤隆雄市議に司会の依頼電話をしたところ、短時間で多くの支持者を集め



中川町で街頭報告

ていただき、大変感激した。本当に申し訳けなく思っているが、人がいると報告にも力が入る。明日からは、上川中部の予定だ。

5月24日【西岡ダム定礎式】



剣淵西岡ダム定礎式

北海道と剣淵町の西岡ダム西岡地区に建設中の西岡ダムの定礎式と修葺式に参加した。西岡ダムは、下流への治水と剣淵町への水道水の確保という目的で、平成21年完成をめざしている。ダム工事における定礎式は、ダムの本格的な築造に際し、礎石を供えてダムの永久堅固と安泰を祈願する行事で、ダム工事では一番神聖な儀式らしい。(中

略) この式典には、地元の子供たちや剣淵屯田太鼓の皆さんも参加して、花を添えていただいた。今後、無事故で早期の完成を願いたいと思う。

6月10日【川西地区で集中豪雨被害】

(前略)10日朝起きるなり川西地区に向かった、取り急ぎ、中の島地区に向かった。この地区には床下浸水の被害を受けた農家があるからである。(中略)被災された農家の方々とお話しをした。皆さん口々に、「長年農業をしてきてがこんな被害は初めてだ」と。そして、ある方が語った、「昔の人は、表土が流れないように、途中に木を植えたり麦などを植えた。面積をひろげるため木を切り、作業効率を高めるため一面同じ作物にした。そのことが被害を拡大したまさに人災だ」。そして別の人が語った、「今年で開基百年を向かえる、昔に帰れつつことかな」とつぶやいた



集中豪雨で被害を受けた玉葱畑

ことが印象的であった。

7月8日【あさひ小規模模作業者感謝祭】

「自然の恵みと支援の輪! ありがとう」これは、あさひ小規模模作業者を支えるボランティアの皆さんがいつも口にする言葉だ。あさひ小規



ボランティアの方が作った「屋台」で撮影

模作業者は、6名のハンディキャップを持った方々を支えるため、自然の恵みである「路(ふき)」や「笹(ささ)」を加工販売し、ボランティアの皆さんとともに、朝日町で頑張っている方々だ。この言葉は、自然の恵みに対する感謝と障がい者を支えるボランティアに対する感謝の言葉なのだろう。私も、この言葉を心に刻み、人の優しさとありがたさ、自然に感謝する気持ちを忘れないようにしよう。

【つづいて】
参議院議員選挙で、民主党に大きな力をいただき、参議院では与野党が逆転した。これで政治の流れも大きく変わるだろう。いや、変わらなければならぬ。2大政党時代に向かい、緊張感をもてる議席でなければ民意は反映されないと思う。総選挙は、年内か遅くとも来春には行われると言われている。予想される総選挙は大変重要な選挙だ。私も一生懸命頑張る決意です。(ゆうこう)